

Avg/Max/Min Speed View

Lap	Time (Diff)	Max Speed (Diff)	Min Speed (Diff)	Average Speed (Diff)	Distance
Lap1	00:48.648 (+00:07.478)	48.20 km/h (-5.98)	15.93 km/h (-4.36)	29.75 km/h (-5.77)	398.68 m
Lap2	00:48.176 (+00:04.989)	44.78 km/h (-9.38)	15.58 km/h (-4.41)	31.22 km/h (-4.30)	398.90 m
Lap3	00:43.828 (+00:02.767)	52.94 km/h (-1.22)	15.76 km/h (-4.23)	33.87 km/h (-1.65)	404.52 m
Lap4	00:46.004 (+00:04.832)	51.64 km/h (-2.52)	8.26 km/h (-11.73)	31.41 km/h (-4.11)	401.41 m
Lap5	00:43.322 (+00:02.150)	49.41 km/h (-4.75)	17.22 km/h (-2.77)	33.92 km/h (-1.80)	405.11 m
Lap6	00:42.051 (+00:00.889)	53.01 km/h (-1.15)	17.29 km/h (-2.70)	34.25 km/h (-1.27)	399.57 m
Lap7	00:42.338 (+00:01.106)	53.64 km/h (-0.52)	19.99 km/h	35.03 km/h (-0.49)	408.67 m
Lap8	00:44.632 (+00:02.800)	54.16 km/h	19.57 km/h (-1.42)	33.33 km/h (-2.19)	407.35 m
Lap9	00:41.719 (+00:00.647)	50.45 km/h (-3.71)	19.92 km/h (-0.07)	35.48 km/h (-0.04)	404.03 m
Lap10/Best	00:41.172	52.85 km/h (-1.31)	18.83 km/h (-1.16)	35.52 km/h	404.52 m

Experience it with QRacing™
Fulfill your needs



Autocross

Drag Race

Rally

Karting

目次

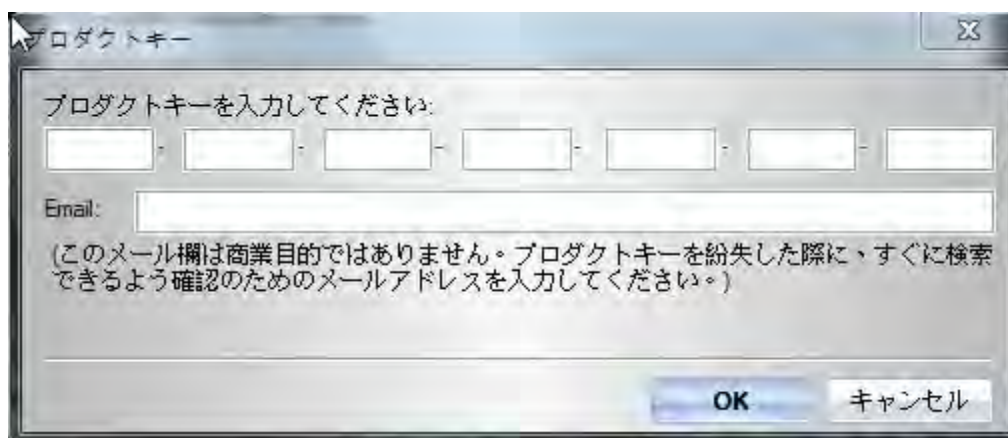
目次.....	2
1. 動作環境.....	3
2. ユーザー設定	4
2.1 新規ユーザー登録.....	4
2.2 ユーザー名の変更.....	4
3. デバイスを読み込み・削除・リセット.....	5
3.1 LT-Q6000 からデータを読み込み (LT-Q6000 機種のみ).....	6
4. デバイス構成 (BT-Q1000eX 機種のみ).....	7
5. AGPS をダウンロード.....	7
6. ツールオプション.....	8
7. 記録リスト.....	8
7.1 レーシングトラック管理.....	9
8. QRacing 分析.....	10
8.1 トラックノート.....	10
8.2 ビーコン.....	10
8.2.1 レーシングトラックを設定.....	12
8.2.2 KML よりインポート.....	12
8.2.3 ビーコンを削除.....	13
8.2.4 ビーコンをエクスポート・インポート.....	13
8.2.5 ビーコンファイルを LT-Q6000 にエクスポート (LT-Q6000 機種のみ).....	14
8.3 データ分析.....	14
8.3.1 馬力分析.....	16
8.4 トラック.....	16
8.4.1 マップビュー.....	16
8.4.2 画面表示モード設定.....	18
8.4.3 再生.....	20
8.5 比較.....	21
8.6 省略.....	21
9. トラックをエクスポート・インポート.....	21
9.1 トラックをエクスポート.....	21
9.2 トラックをインポート.....	22
10. 動画.....	23
10.1 動画設定.....	24
10.2 動画開始時間を設定.....	25
11. 画面キャプチャー.....	25
12. グーグルアース.....	26
13. QRacing ソフトウェアと LT-Q6000 の更新について.....	26
14. フェイスブックでキュースターズと交流しましょう.....	27

1. 動作環境

最小限必要なシステムの条件	推薦システム条件
Windows XP, Vista or Windows 7	Windows XP, Vista or Windows 7
Pentium 3, 500 MHz	Pentium 4 2.4GHz+ or AMD 2400xp+
128M RAM	512 RAM
128M disk space	2 GB of free disk space
3D-capable video card with 16Mbytes of VRAM	3D-capable video card with 32Mbytes of VRAM or greater
800x600, “16-bit High Color” screen	1280x1024 “32-bit True Color” screen

初めてご利用の際は、プロダクトキーを入力する必要があります。

プロダクトキーはCDが入っている封筒の上に記載されております。



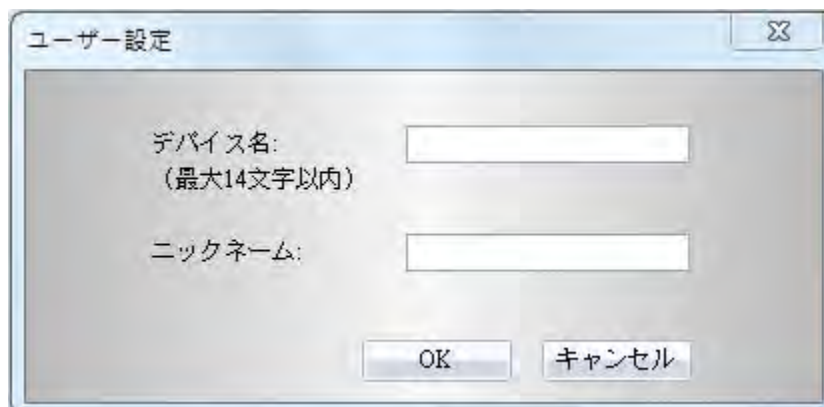
または、『About』を開き、『プロダクトキー』ボタンをクリックすると、入力できます。

2. ユーザー設定

2.1 新規ユーザー登録

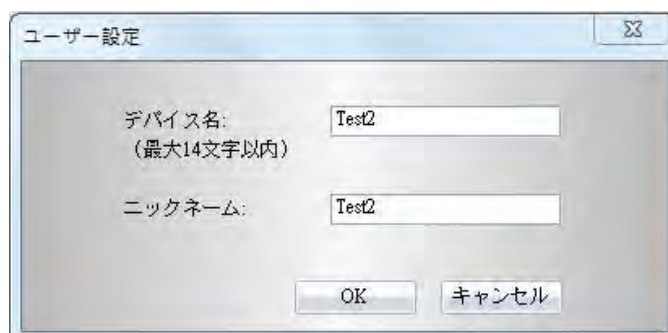
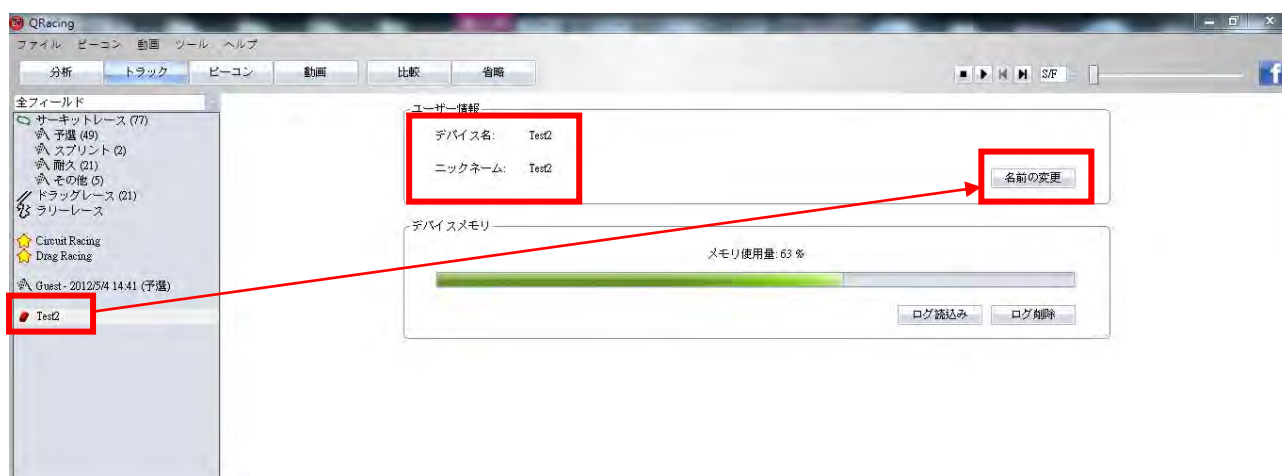
QRacing は複数のユーザー登録に対応します。GPS デバイスをパソコンに接続すると、新規にユーザーを登録することができます。未登録のまま接続の場合、自動的にデバイス名とニックネームの入力画面が表示されます。

※14 文字以内の英数字で入力してください。



2.2 ユーザー名の変更

QRacing では登録が完了すると、ユーザーによるデバイスとニックネームの変更が可能となります。画面の左にユーザー名前をクリックすると、画面の右側にあるデバイス名とニックネームが表示されます。『名前の変更』ボタンをクリックすると、名前の変更ができます。



3. デバイスを読み込み・削除・リセット

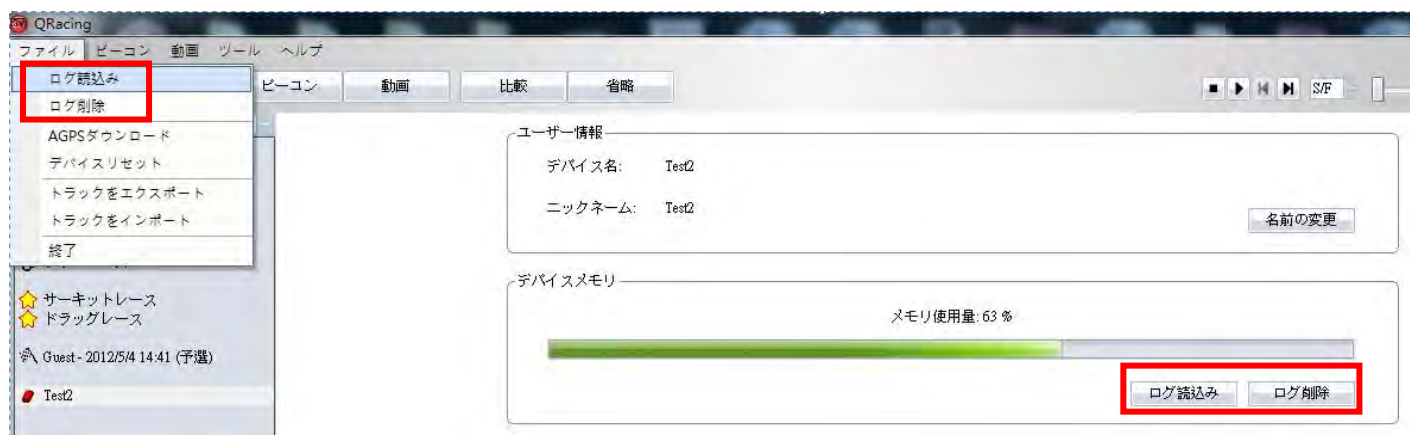
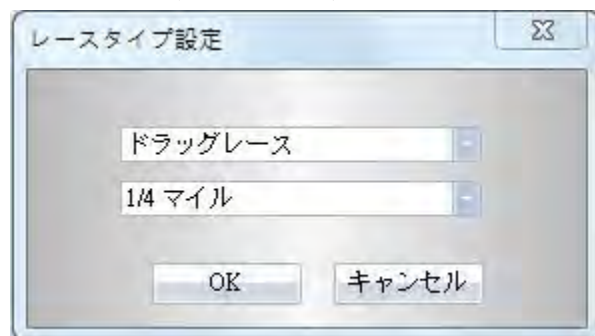
GPS デバイスをパソコンに接続した後、レースタイプ設定画面が自動で表示します。

読み込みを開始する場合、レースタイプを選び、『OK』ボタンをクリックしてください。（下図を参照）



レースタイプを選択できます。

なお、「ドラッグレース」を選択した場合、詳細（距離、時速）については入力する必要があります。



ログデータを手動で読み込む場合は、画面の左側にあるユーザー項目を選び、画面の右にある『ログ読み込み』ボタンをクリックし、もしくは、画面の左上にある『ファイル』を開き、『ログ読み込み』をクリックしてください。

ログデータを削除する場合は、GPS デバイスに接続したまま画面の左側にあるユーザー項目を選び、画面の右にある『ログ削除』ボタンをクリックし、もしくは、画面の左上にある『ファイル』を開き、『ログ削除』をクリックしてください。

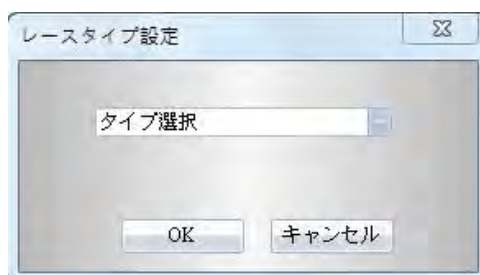
工場出荷時の設定に戻りたい場合は、『ファイル』を開き、『デバイスリセット』をクリックしてください。

3.1 LT-Q6000 からデータを読み込み（LT-Q6000 機種のみ）

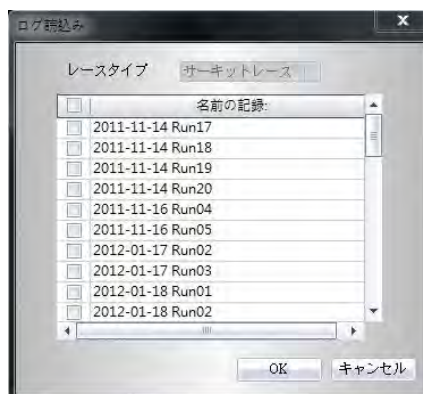
Q6000 をオフにしたままパソコンに接続し、または、デバイスにログが保存されている場合は、画面に「GPS からログを読み込みますが、よろしいですか」メッセージが表示されます。『はい』ボタンをクリックすると、Q6000 からログをダウンロードします。



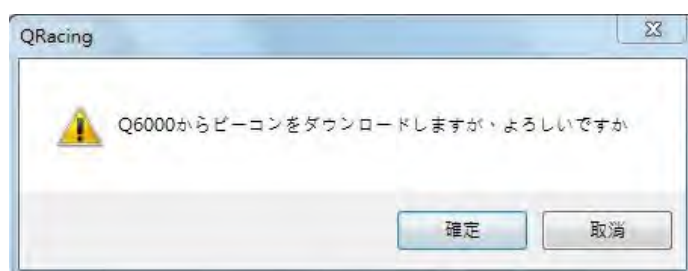
レースタイプを選んでください。



ダウンロードするセッションを選んでください。

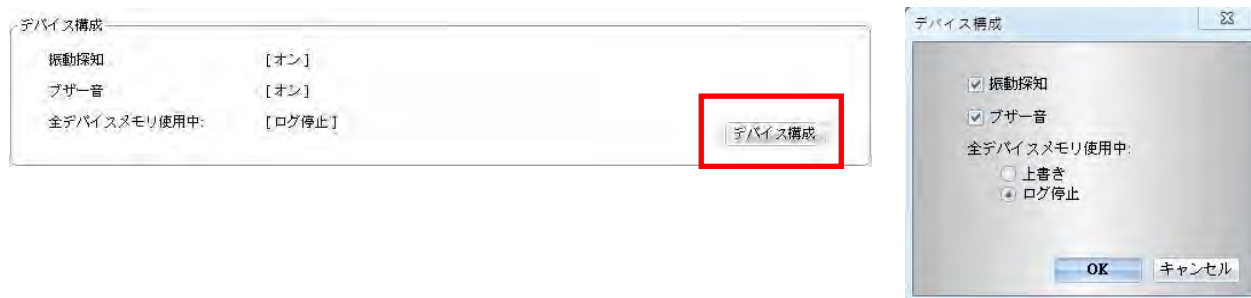


画面の「GPS からログを読み込みますが、よろしいですか」メッセージに、『はい』ボタンをクリックすると、Q6000 よりビーコンのダウンロードが行えます。『いいえ』ボタンをクリックすると、ビーコンの設定はQRacingを通じてビーコンを設定することになります。（ビーコンは一般的に仮想スタート、ゴール、区間線と呼ばれます。）



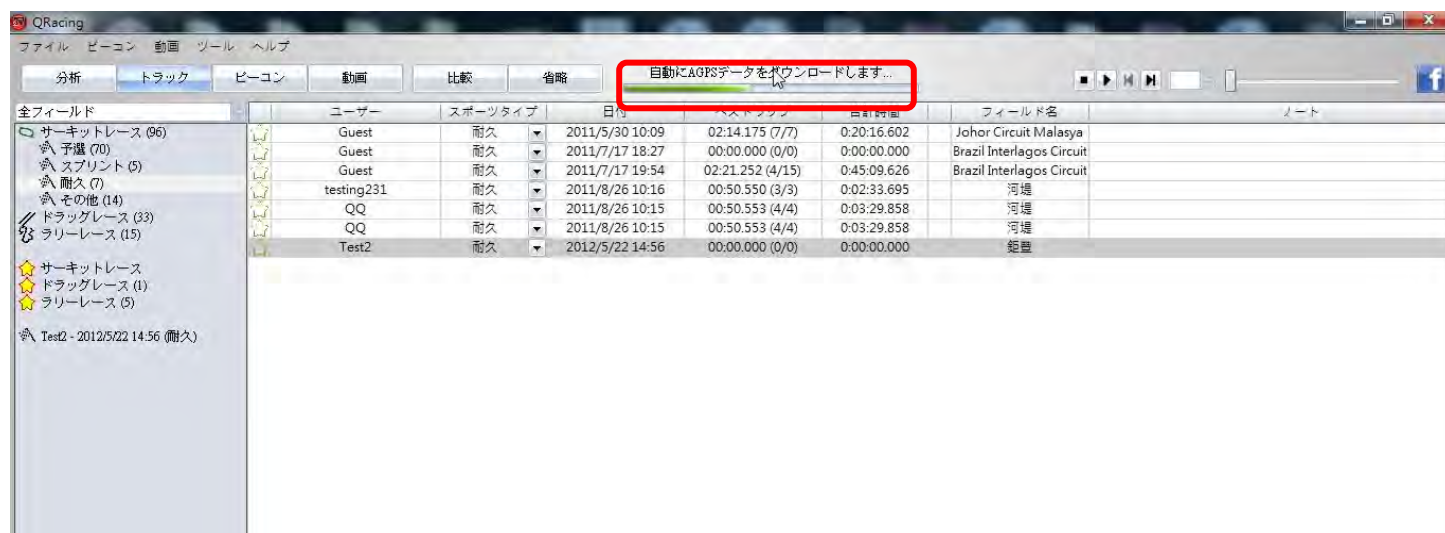
4. デバイス構成 (BT-Q1000eX 機種のみ)

デバイスに接続すると、デバイスの詳細設定ができます。ユーザー設定ページでは『デバイス構成』ボタンをクリックすると、振動探知、ブザー音、デバイスメモリを設定できます。

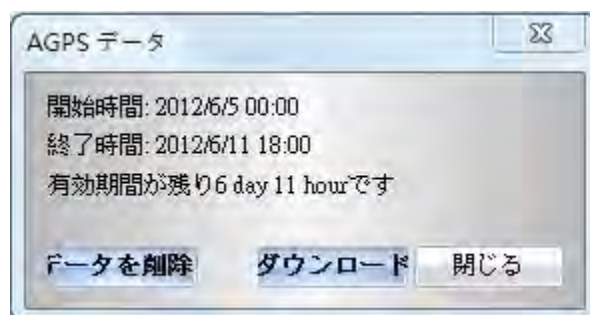


5. AGPS をダウンロード

AGPS (Assist GPS) はより迅速かつ正確に衛星の捕捉を行うために作成されたものです。QRacing はデバイスと接続すると、自動的に AGPS データをダウンロードします。(注意: AGPS をダウンロードするためには、インターネットに接続していなければなりません)

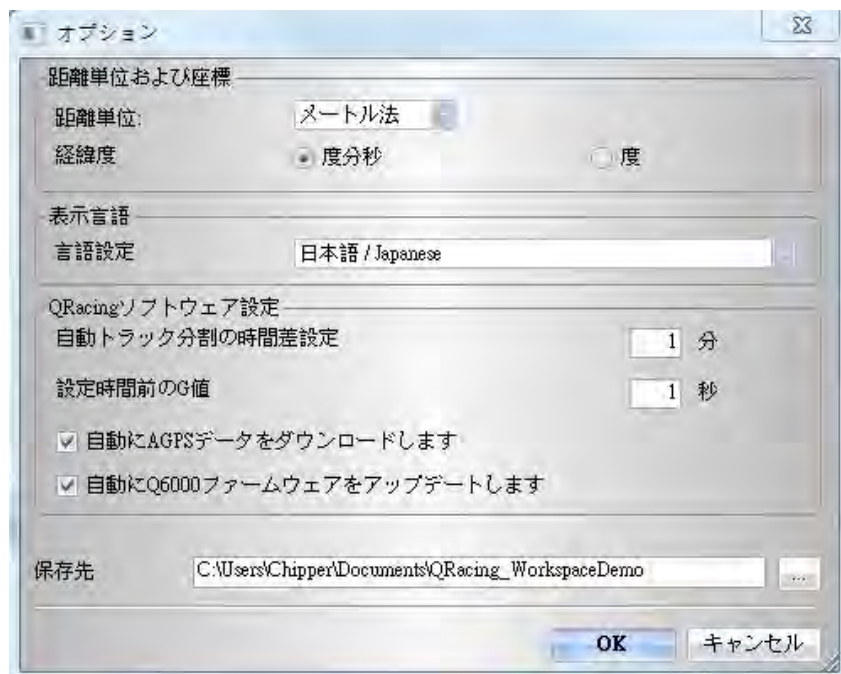


または、『ファイル』を開き、『AGPS ダウンロード』をクリックすると、手動でダウンロードと削除が行えます。



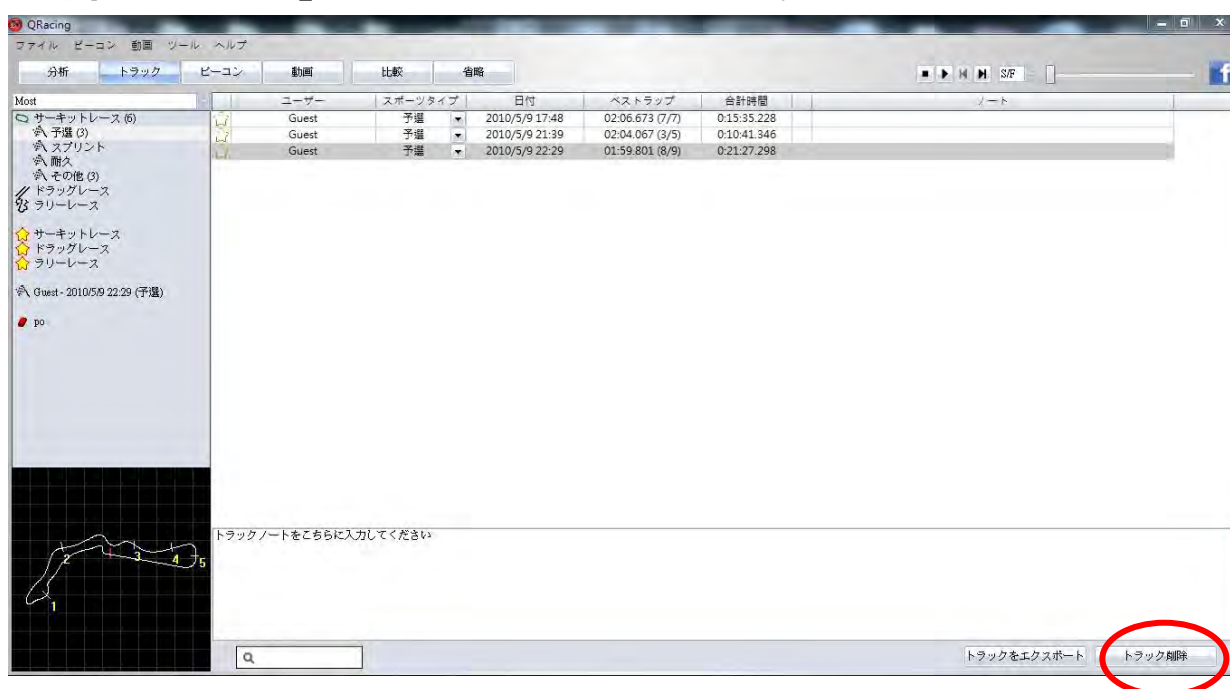
6. ツールオプション

メニューバーで『ツール』を開き、『オプション』をクリックすると、「距離単位および座標」「表示言語」「トラック設定」「G値設定」「ファームウェアをアップデート」「保存先」「AGPSをダウンロード」「保存先」などの設定・調整ができます。



7. 記録リスト

インポートされたトラックをダブルクリックすると、分析ページに反映されます。トラックのレースタイプが正しくない場合は、リストの中に正しい項目に変更することができます。削除する場合は、トラックを選び、『トラック削除』ボタンをクリックしてください。

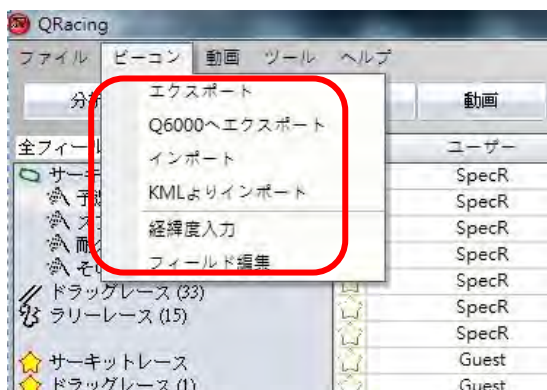


7.1 レーシングトラック管理

QRacing はレーシングトラック管理に対応しています。レーシングトラックが QRacing データベースからトラックを新しく見つかった場合は、ソフトウェアはトラック名を設定するよう求めます。入力 completed すると、トラック名を通じて、フォルダからトラックの記録を閲覧・検索できます。



『ビーコン』を選び、『フィールド編集』をクリックすると、レーシングトラックの名前を編集できます。



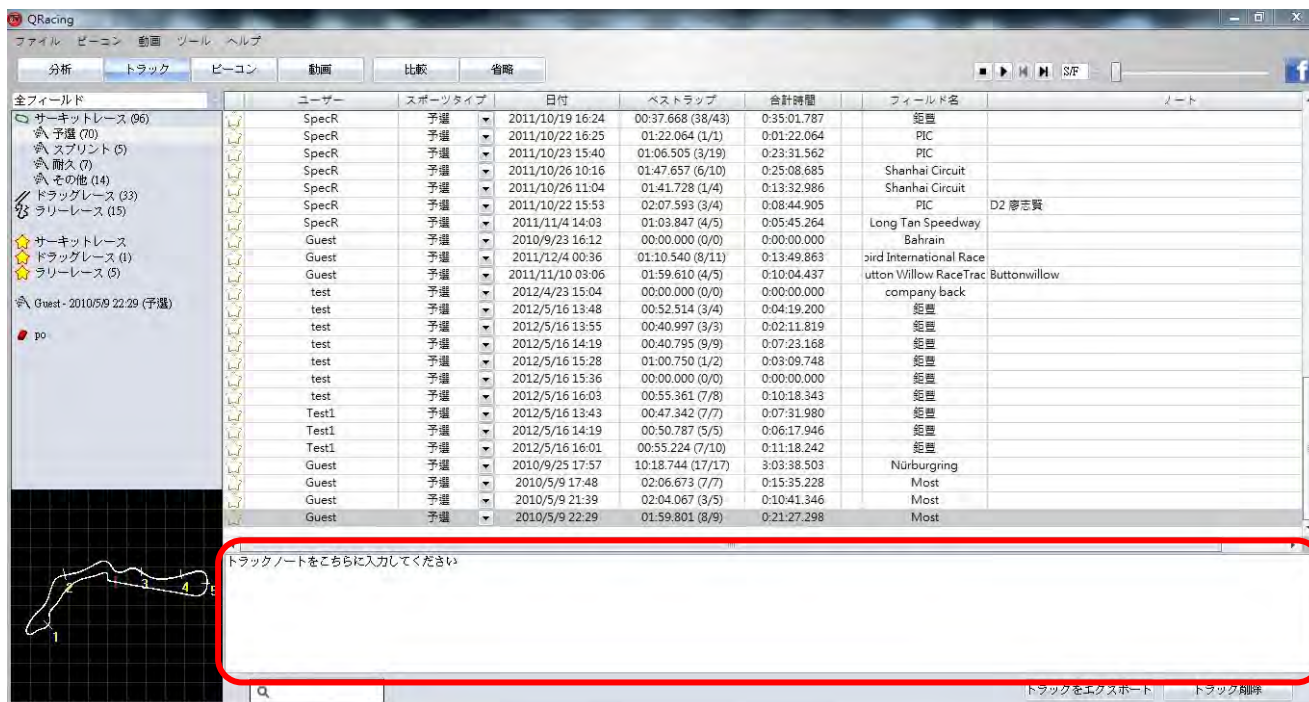
トラック名をダブルクリックすると、レーシングトラックの名前を編集できます。そして、『削除』ボタンをクリックすると、削除が行えます。



8. QRacing で分析

8.1 トラックノート

デバイスからログを読込んだ後、トラックにノートを書き加えることができます。ご希望のトラックを選び、下のスペースにノートを書き加え・編集ができます。

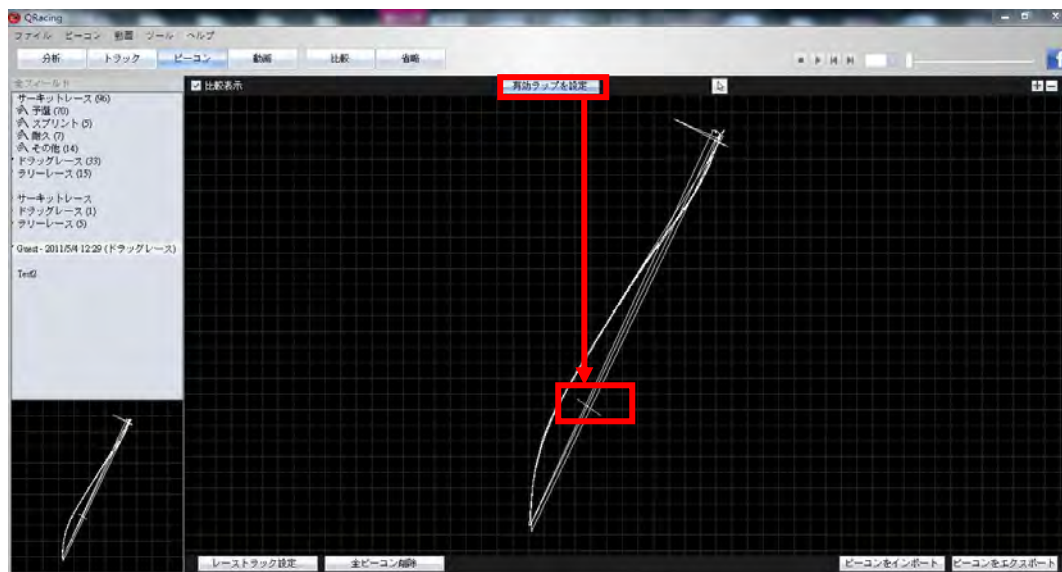


8.2 ビーコン

トラックのビーコンが未編集の場合、分析データを算出する際に、QRacing は最初にビーコンを編集するよう求めます。ビーコンは、「スタート・ゴール」「スタート」「ゴール」「スプリット」四種類に別れ、レースタイプによって、選択・編集することができます。レースには二種類以上のトラックが含まれる場合、『比較』ボタンをクリックすると、比較を行うことができます。なお、ほかのレーサーと比較する場合、画面の左上にある「比較表示」にチェックを入れてください。それは、同一のレースにおいて全トラック間でのビーコンの編集にも役に立ちます。



ドラッグレースの場合、ビーコンタイプは一種類のみです。『有効ラップを設定』ボタンをクリックし、トラックにおいては可能であるラップにマークがつけられます。そして、QRacing はユーザー定義の距離や速度に従って、自動に算出・分析が行えます。

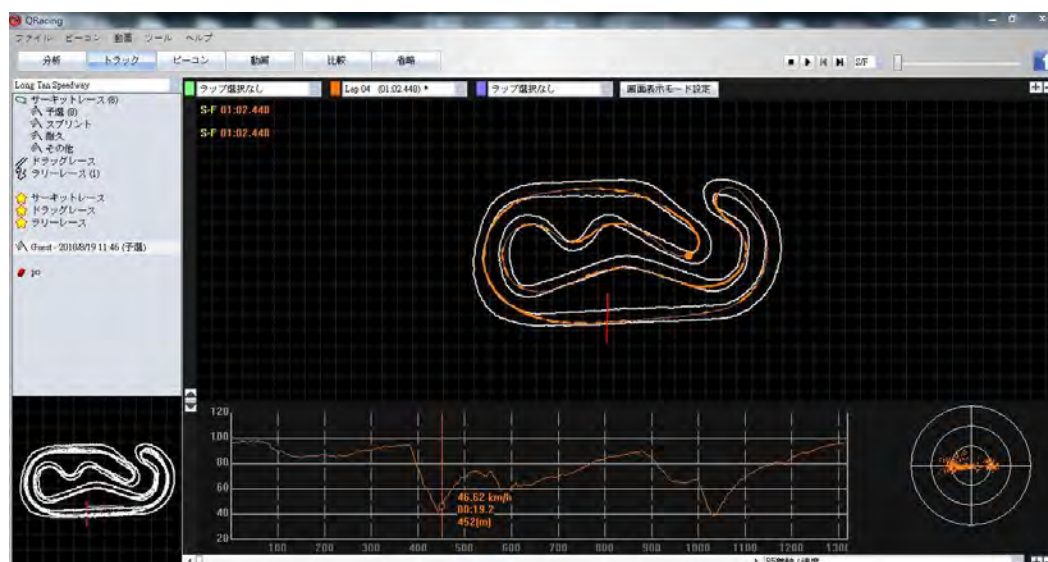


ご希望のビーコン位置はご存知の場合、『ビーコン』をクリックし、『経緯度入力』を開き、ビーコン位置の緯度と経度を入力することができます。



8.2.1 レーシングトラックの設定

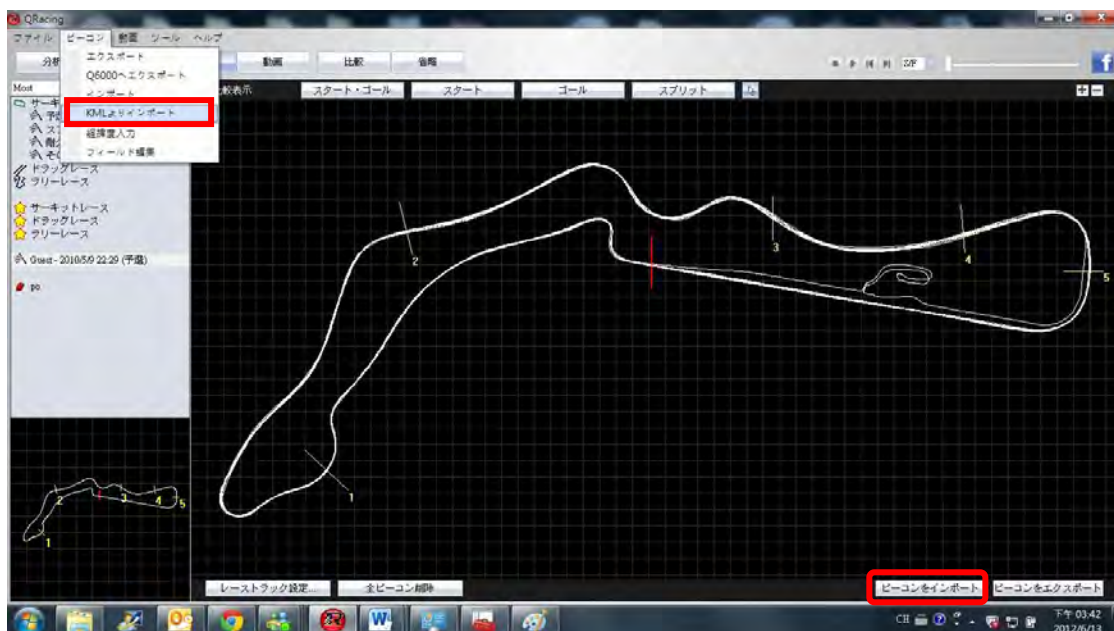
Q1000eX を携帯したまま走行または運行することで、サーキット図を描くことができます。レーストラックの内側と外側の走行形式でラップを両方記録した後、『レーシングトラック設定』をクリックし、二つのラップを選ぶと、トラックの内側と外側として記録することになります。また、グーグルアースでは作成されたサーキット図をインポートさせることもできます。(8.2.2をご参照ください)



8.2.2 KML よりインポート

グーグルアース (.kml ファイル) 機能について、サーキット図を QRacing にインポートすることができます。『ビーコン』を開き、『KML よりインポート』をクリックしてください。グーグルマップではユーザー定義のスタート・ゴール、スプリット線を作成した上で、Q6000 にアップロードすることができます。(8.2.5をご参照ください)

その後、ラップを計測するためには、該当サーキット図を Q6000 に出力することもできます。



8.2.3 ビーコンの削除

ビーコンを削除する場合、マウスのポイントをビーコンに移し(ビーコンがハイライトされます)クリックし(右クリックも可能です)、『ビーコン削除』ボタンをクリックすると、ビーコンを削除できます。また、画面の左下『全ビーコン削除』ボタンをクリックすると、全ビーコンは削除します。

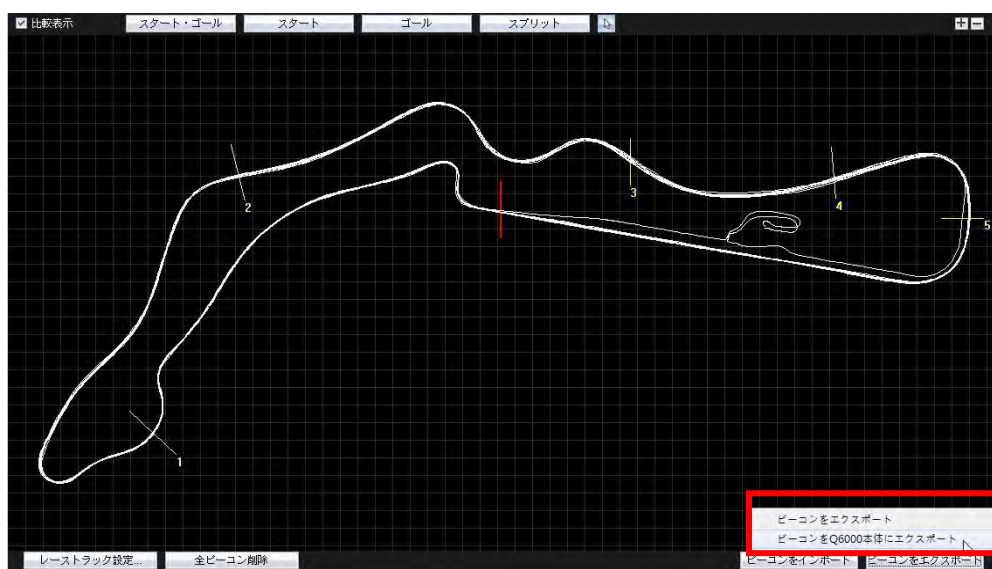


8.2.4 ビーコンをエクスポート・インポート

ビーコン情報を出力し、他のユーザーとレーストラック情報を交換するには、『ビーコンをエクスポート』や『ビーコンをインポート』ボタンをクリックしてください。

8.2.5 ビーコンファイルを LT-Q6000 にエクスポート (LT-Q6000 機種のみ)

ラップを計測する場合、QRacing ではスタート・ゴール、スプリット線が作成され、そして、さらに、LT-Q6000 にアップロードすることができます。ビーコンページの右下にある『ビーコンをエクスポート』ボタンをクリックし、『ビーコンを Q6000 本体にエクスポート』を選ぶと、ビーコン情報を Q6000 本体と同期することができます



8.3 データ分析

ビーコンの設定が完了し、『分析』ボタンをクリックすると、レース分析データが閲覧できます。QRacing はベストのラップを参考値にします。参考値を変更するには、「照合ラップ設定」をクリックし、ご希望の参考値となるラップを選んでください。

照合ラップ設定 **Lap 8**

平均・最大・最小速度表示

ラップ	時間 (タイム差)	最大速度 (タイム差)	最低速度 (タイム差)	平均速度 (タイム差)	距離
Lap1	03:47.621 (+01:47.719)	153.25 km/h (-59.61)	0.00 km/h (-50.98)	65.74 km/h (-59.57)	4145.25 メートル
Lap2	03:19.395 (+01:19.593)	172.85 km/h (-40.01)	0.00 km/h (-50.98)	74.99 km/h (-50.32)	4145.15 メートル
Lap3	02:05.859 (+00:06.057)	212.86 km/h	29.66 km/h (-21.32)	119.40 km/h (-5.91)	4145.89 メートル
Lap4	02:02.524 (+00:02.723)	208.61 km/h (-4.25)	50.69 km/h (-0.29)	122.24 km/h (-3.07)	4142.57 メートル
Lap5	02:05.077 (+00:05.275)	203.40 km/h (-9.46)	48.69 km/h (-2.29)	119.13 km/h (-6.18)	4136.48 メートル
Lap6	02:01.056 (+00:01.854)	209.55 km/h (-3.31)	50.78 km/h (-0.20)	123.17 km/h (-2.14)	4139.87 メートル
Lap7	02:01.027 (+00:01.825)	206.85 km/h (-6.01)	49.64 km/h (-1.34)	123.10 km/h (-2.21)	4137.58 メートル
Lap8 ベスト	01:59.802	209.25 km/h (-3.61)	50.98 km/h	125.31 km/h	4142.27 メートル
Lap9	02:03.839 (+00:04.037)	197.96 km/h (-14.90)	49.88 km/h (-1.10)	121.38 km/h (-3.93)	4147.30 メートル
平均	02:23.038	197.18	36.70	110.50	4142.48

区間表示 (スプリット・スプリット)

ラップ	時間 (タイム差)	S-1 (タイム差)	1-2 (タイム差)	2-3 (タイム差)	3-4 (タイム差)	4-5 (タイム差)	5-F (タイム差)
Lap1	03:47.621 (+01:47.719)	00:36.600 (+06.176)	00:32.796 (+05.707)	00:27.665 (+04.783)	00:10.257 (+01.964)	00:11.659 (+01.886)	01:48.544 (+87.879)
Lap2	03:19.395 (+01:19.593)	00:34.589 (+04.164)	00:30.227 (+03.138)	00:25.330 (+02.447)	00:10.510 (+02.217)	00:11.878 (+02.117)	01:26.861 (+65.996)
Lap3	02:05.869 (+00:06.067)	00:34.258 (+03.833)	00:28.280 (+01.191)	00:23.177 (+00.295)	00:08.504 (+00.211)	00:10.500 (+00.740)	00:21.139 (+00.274)
Lap4	02:02.524 (+00:02.723)	00:31.118 (+00.692)	00:28.329 (+01.239)	00:23.414 (+00.532)	00:08.293	00:10.015 (+00.254)	00:21.357 (+00.492)
Lap5	02:05.077 (+00:05.275)	00:31.824 (+01.398)	00:28.049 (+00.959)	00:24.341 (+01.458)	00:08.609 (+00.317)	00:10.429 (+00.668)	00:21.825 (+00.961)
Lap6	02:01.656 (+00:01.854)	00:30.957 (+00.532)	00:27.305 (+00.216)	00:23.736 (+00.854)	00:08.344 (+00.051)	00:10.449 (+00.688)	00:20.865
Lap7	02:01.627 (+00:01.825)	00:31.548 (+01.123)	00:27.254 (+00.165)	00:23.268 (+00.385)	00:08.293 (+00.001)	00:10.138 (+00.377)	00:21.126 (+00.261)
Lap8ベスト	01:59.802	00:30.425	00:27.089	00:22.882	00:08.888 (+00.395)	00:09.761	00:20.956 (+00.092)
Lap9	02:03.839 (+00:04.037)	00:31.408 (+00.983)	00:27.664 (+00.575)	00:23.185 (+00.303)	00:08.387 (+00.094)	00:09.945 (+00.185)	00:23.249 (+02.385)
仮想ベストタイム	01:59.315	00:30.425	00:27.089	00:22.882	00:08.293	00:09.761	00:20.865
ベストラップタイム	01:59.802	00:30.425	00:27.089	00:22.882	00:08.888	00:09.761	00:20.956

分析機能は四項目に分れます。「平均・最大・最小速度表示」「区間表示(スプリット・スプリット)」「スプリット表示(スタート・スプリット)」「現在速度表示」です。ユーザーのレースデータを分析する機能に関して、各分析表と最大ラップタイムから記録を取り出し、ベストの記録としてハイライトします。また、QRacingは参考値を算出するにあたって、仮想ベストタイムとベストラップタイムも算出できます。

仮想ベストタイムとは、全レースにおける最高スプリット時間の総計値です。

ベストラップタイムとは、全レースにおける最高連続スプリット時間の総計値です

なお、前述の例を取ってみると、仮想ベストタイムというのは、全ラップにおける最高スプリット時間の合計値であります。ベストラップタイムというのは、ご指定のラップ2(2-3)からラップ3(1-2)まで、連続スプリット時間の合計値です。

他のトラックと比較することもできます。『比較』ボタンをクリックし、ご希望のトラックを選ぶと、分析表が自動的に情報を更新します。なお、**7.5 比較**をご参照ください。

分析データをエクスポートする場合、『出力ラップ情報』ボタンをクリックすると、QRacingはEXCEL、CSV、HTMLなどのファイル形式として分析表を出力します。

ドラッグレース分析表に関しては、QRacingは自動にいくつかの区間と表に分け、各区間の時間と距離は以下のとおりです。

最高速度表示 (100 m)

ラップ	時間 (タイム差)	最大速度 (タイム差)
Lap1	07.469 (+00.841)	82.05 km/h (-4.20)
Lap2	07.692 (+01.063)	82.41 km/h (-3.84)
Lap3	07.695 (+00.976)	82.61 km/h (-3.64)
Lap4	07.575 (+00.846)	81.59 km/h (-4.67)
Lap5	08.793 (+02.124)	81.08 km/h (-5.17)
Lap6	07.241 (+00.612)	82.87 km/h (-3.38)
Lap7	07.728 (+01.099)	81.24 km/h (-5.01)
Lap8	07.658 (+00.429)	86.25 km/h
Lap9	07.227 (+00.698)	84.04 km/h (-2.21)
Lap10ベスト	06.629	85.85 km/h (-0.40)

スプリット表示 (スタート・スプリット)

ラップ	Lap1			Lap2		
速度	時間	距離	時間	距離	距離	
0-10	00.668 (+00.350)	1.38 m	00.728 (+00.410)	0.98 m		
0-20	01.185 (+00.361)	3.38 m	01.386 (+00.656)	3.48 m		
0-30	01.863 (+00.548)	8.11 m	02.064 (+00.750)	8.32 m		
0-40	02.690 (+00.655)	14.79 m	02.769 (+00.834)	15.14 m		
0-50	03.658 (+00.911)	28.81 m	03.557 (+00.809)	25.09 m		
0-60	04.621 (+01.104)	44.59 m	04.560 (+01.044)	40.46 m		
0-70	05.699 (+01.273)	66.65 m	05.643 (+01.218)	63.81 m		
0-80	07.214 (+01.437)	96.14 m	07.176 (+01.401)	87.66 m		

区間表示 (スプリット・スプリット)

ラップ	Lap1			Lap2		
速度	時間	距離	時間	距離	距離	
0-10	00.668 (+00.350)	1.38 m	00.728 (+00.410)	0.98 m		
10-20	00.517 (+00.011)	2.00 m	00.651 (+00.146)	2.50 m		
20-30	00.678 (+00.208)	4.73 m	00.684 (+00.213)	4.85 m		
30-40	00.727 (+00.108)	6.68 m	00.795 (+00.085)	6.82 m		
40-50	01.068 (+00.433)	14.02 m	00.788 (+00.152)	9.96 m		
50-60	00.963 (+00.281)	15.78 m	01.064 (+00.322)	15.37 m		
60-70	01.278 (+00.208)	22.06 m	01.293 (+00.212)	23.35 m		
70-80	01.315 (+00.208)	29.49 m	01.336 (+00.228)	23.86 m		

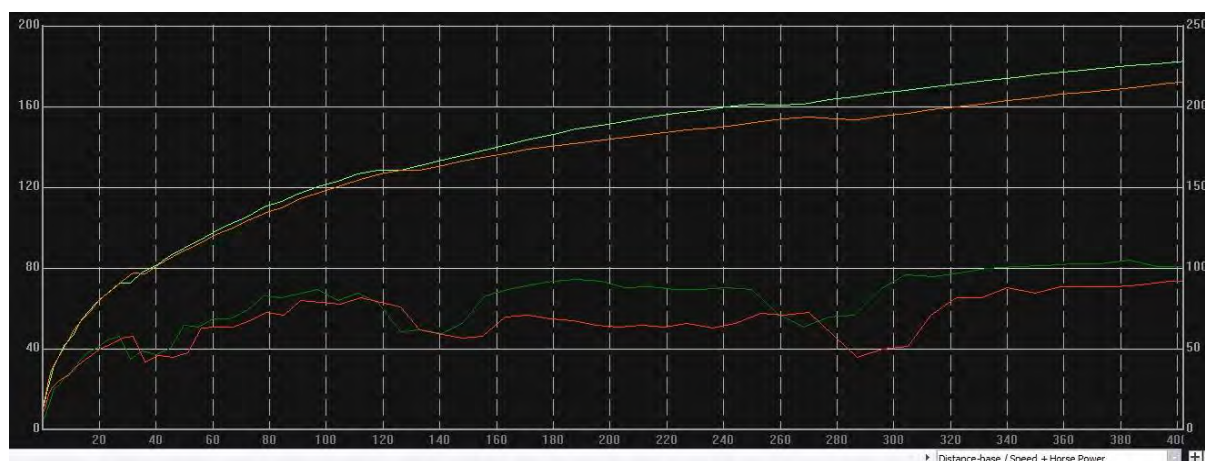
8.3.1 馬力分析

QRacingは1/4マイル程度のドラッグレース走行で、車両(車、トラック、バイク)の平均や最大馬力を概算することができます。馬力測定を算出するには、車とレーサーの重量を両方入力しなければなりません。それに、重量に関しては、車両、ドライバー、乗員を全て含めなければなりません。

「更新」をクリックすると、車重とレーサーの体重の設定が行えます。

馬力表示			
車重: 200 kg			
レーサー体重: 90 kg 更新			
ラップ	Lap1	Lap2	Lap3
平均馬力	14 hp	14 hp	15 hp
最大馬力	22 hp	25 hp	20 hp

トラックページでは速度と馬力のグラフを分析することができます。



ノート：本動力概算はGPS数値に基づく算出したため、結果が約5%以内の差を伴うことがあります。

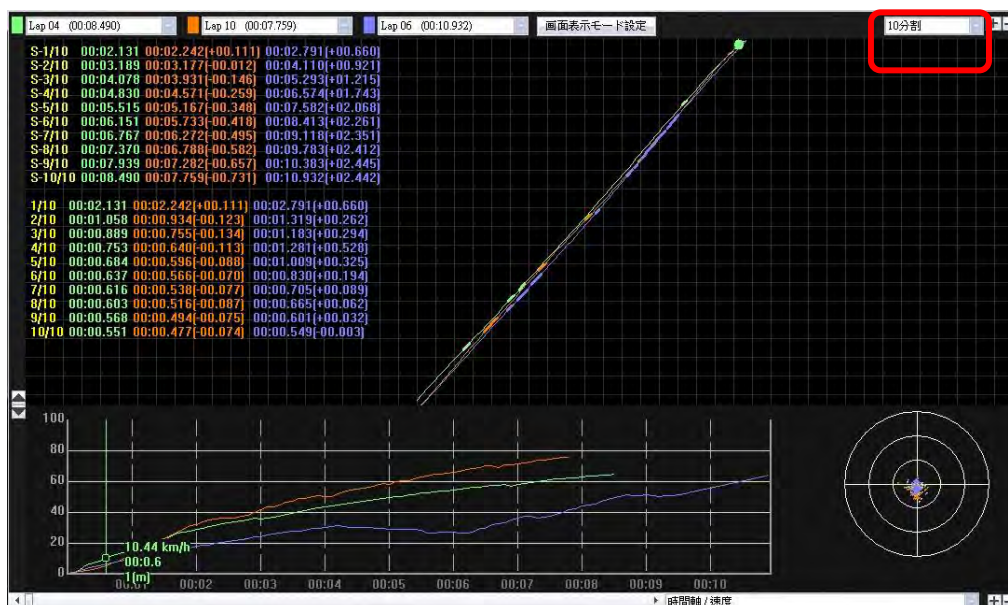
8.4 トラック

8.4.1 マップビュー

トラックページにおいてデータを表示・比較する場合、ラップは最大三つまで選ばれます。グラフに関しては、距離単位か時間単位を基準として比較することになります。



ドラッグレースの場合、もう一種類の分析形式があります。各レースを四つ、もしくは、十の区間に分けると、各区間内での直線加速タイムも画面に表示されます。



マップビューでは多様な色を使用しながら、グラフ線のトラックにタックをつけることができます。色は赤、緑、白があります。位置はマークすると、ブレーキ位置や加速位置として定義させることができます。



8.4.2 画面表示モードの設定

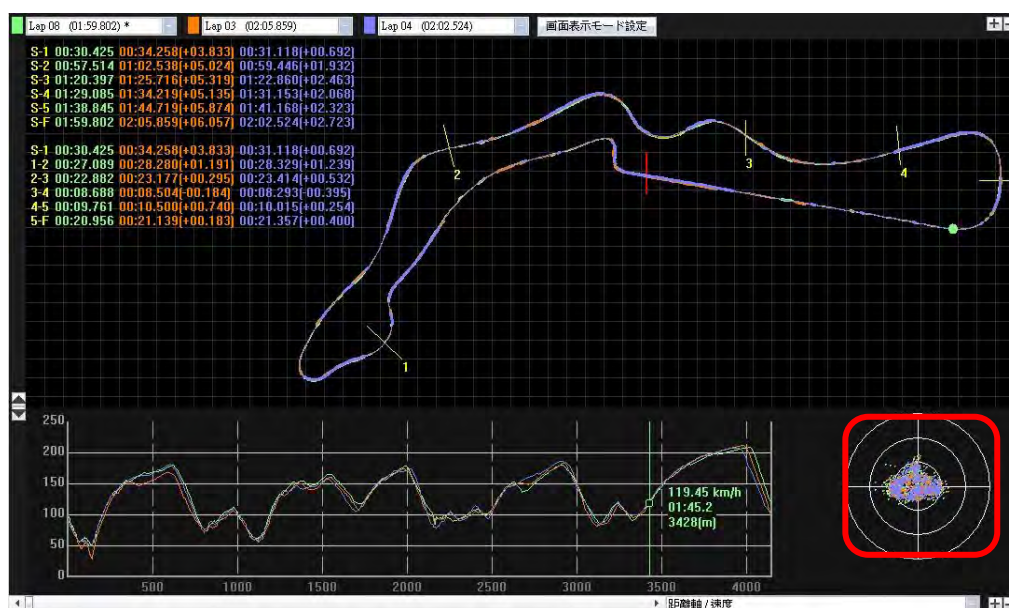
『ツール』を選び、『画面表示モード設定』をクリックし、または、トラック画面での『画面表示モード設定』をクリックすると、トラック再生の際に使用する設定を選択できます。

- ◆ G 値を表示：トラックを再生する際に、G 値の線をトラックにおいて表示します。

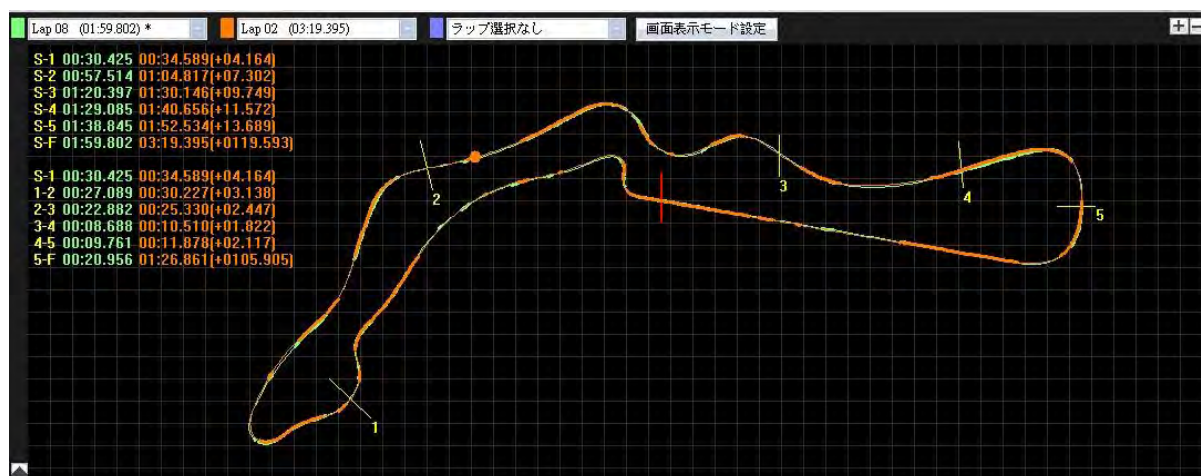




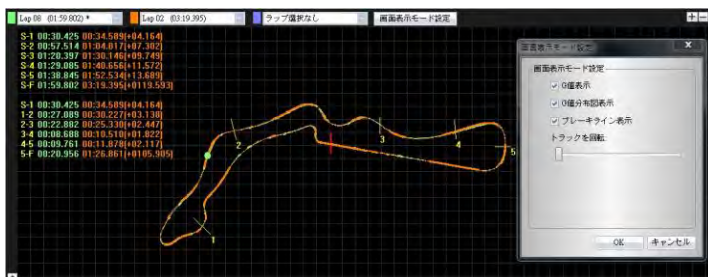
- ◆ G値分布図を表示：ご希望のトラック上においてG値分布図を表示できます。



- ◆ ブレーキラインを表示：トラック上においてブレーキラインは表示できます。トラックとの比較、アクセルとブレーキの関連情報を知るには、ご希望トラック上にブレーキラインを表示できます。
※太いトラック線はブレーキとなったエリア（減速エリア） 細いトラック線はアクセルオンとなったエリア（加速エリア）です。



- ◆ トラックを回転：トラック図の方向を360度回転できる機能です。



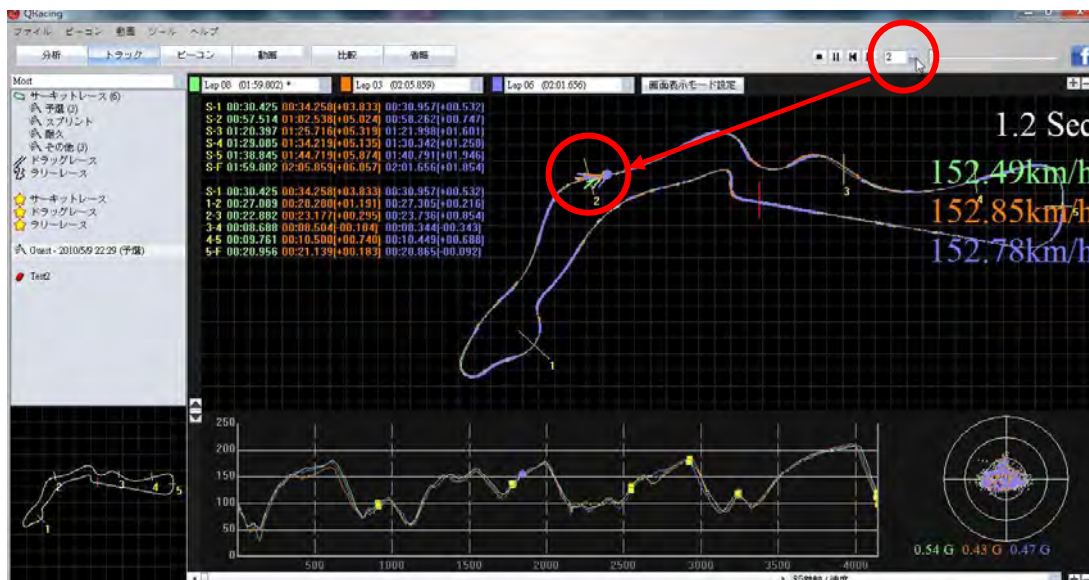
8.4.3 再生

状態バーにある『再生』ボタンをクリックすると、ご指定の三つのラップはレース情報を時間・速度・G値分布図の形として表示し、再生することができます。

下の画面では、G値分布図が表示し、そして、参考値となるトラックラインはG値ラインと同時にリアルタイムで表示することになります。



他の成績のいいレーサーと比較し、成績のいい区間を確認する場合、区間番号を指定すると、QRacingは該当区間とあわせて、トラックの再生を開始します。



8.5 比較

『比較』ボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。

比較するトラックを選択	ユーザー	スポーツタイプ	フィールド名	日付	開始時間	ベストラップ	合計時間	ノート
<input type="checkbox"/>	Guest	耐久	hor Circuit Malaysia	2011/5/30	10:09	02:14.175 (7/7)	0:20:16.602	
<input checked="" type="checkbox"/>	ass	その他	極限	2010/9/26	11:17	00:41.635 (7/17)	0:14:23.307	
<input checked="" type="checkbox"/>	Guest	予選	New Tokyo Circuit	2011/6/25	08:03	00:37.722 (12/16)	0:12:31.737	
<input checked="" type="checkbox"/>	okboom	スプリント	HA Autodromo	2011/4/10	06:19	01:44.556 (3/9)	0:18:59.433	
<input checked="" type="checkbox"/>	Chigo	スプリント	Sepang F1	2011/8/7	12:14	02:36.503 (4/5)	0:27:45.867	
<input checked="" type="checkbox"/>	Chigo	スプリント	Sepang F1	2011/8/7	15:52	02:34.486 (1/1)	0:02:34.486	
<input checked="" type="checkbox"/>	Chipper	予選	極限	2011/3/2	16:24	00:51.614 (16/16)	0:15:06.309	
<input checked="" type="checkbox"/>	Chipper	予選	2011/12/14	14:34	02:01.406 (3/4)	0:08:26.215		
<input checked="" type="checkbox"/>	Guest	その他	Velkom Raceway	2011/1/29	18:46	01:53.999 (2/3)	0:06:08.056	
<input checked="" type="checkbox"/>	No1	予選	台南安定賽車場	2010/9/12	16:01	00:54.445 (8/9)	0:10:59.193	
<input checked="" type="checkbox"/>	Test	予選	極限	2011/2/17	13:45	00:52.436 (9/13)	0:16:02.248	Video
<input checked="" type="checkbox"/>	Guest	スプリント	Seguna Sega Circuit	2010/11/18	03:05	01:58.843 (6/6)	0:12:20.789	
<input checked="" type="checkbox"/>	Guest	スプリント	Infineon Raceway	2010/11/2	03:11	02:07.088 (3/6)	0:15:47.320	

『比較』ボタンをクリックし、同じレースタイプに属するトラック（サーキット、ドラッグ、ラリー）を別のユーザーのトラックと合わせて比較できます。

8.6 省略

『省略』ボタンをクリックし、省略するラップを設定・キャンセルすることができます（例えウォームアップラップの場合）。ラップ設定が終了すると、「Lap0」として表示します。

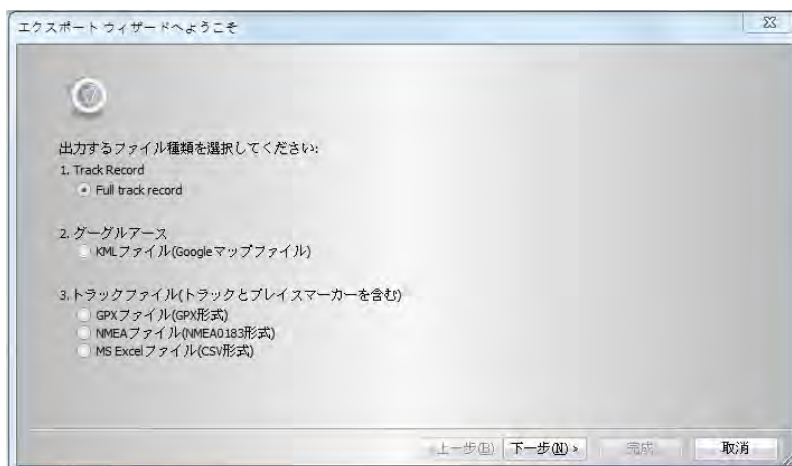
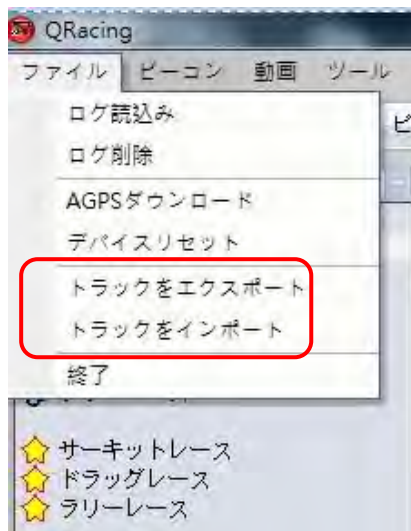


9. トラックをエクスポート・インポート

9.1 トラックをエクスポート

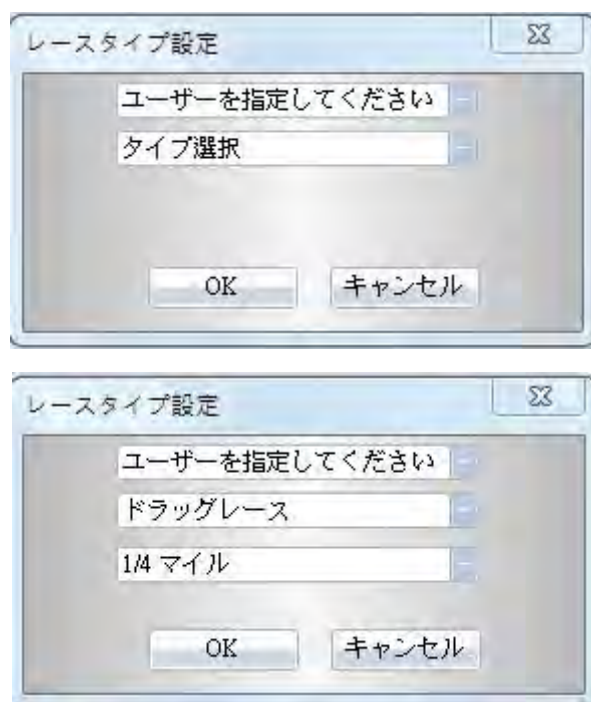
ユーザーがベストのトラックを他のユーザーと情報交換し、または、バックアップする場合は、RCNファイル形式（QRacingは対応するファイル形式）や他のファイル形式（KML、GPX、NMEA、CS）としてエクスポートします。

『ファイル』を開き、『トラックをエクスポート』をクリックし、トラック記録形式(RCN形式ファイル)か他のファイル形式を選び、出力するトラックを選んでください。



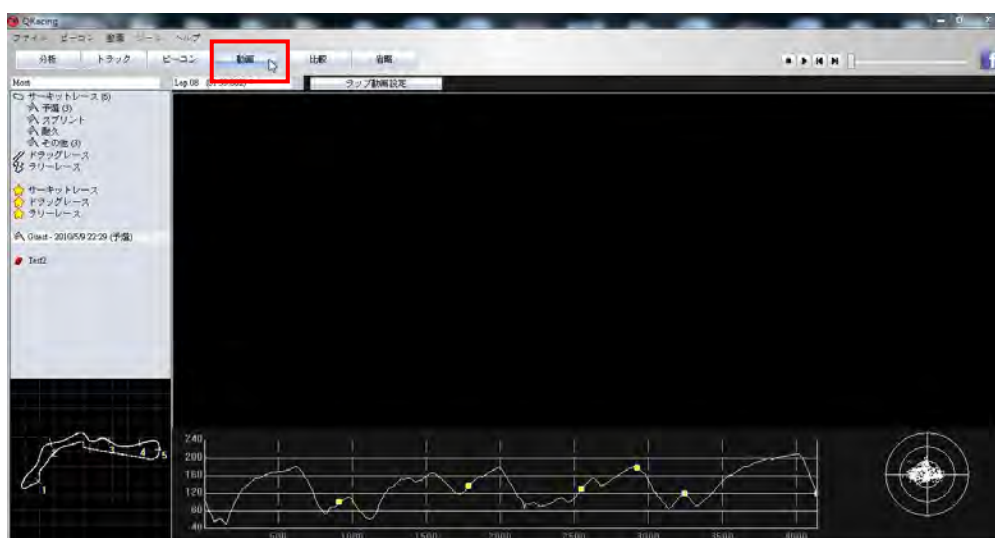
9.2 トラックをインポート

『ファイル』を開き、『トラックをインポート』をクリックし、インポートするトラックを選ぶ (RCN形式のみは対応します) と、レースタイプを選択するメッセージが出てきます。なお、レースタイプがドラッグレースの場合、詳細(距離、時速)について設定してください。



10. 動画

QRacing はレースの動画をトラックと同期することができます。『動画』ボタンをクリックすると、動画を設定できます。

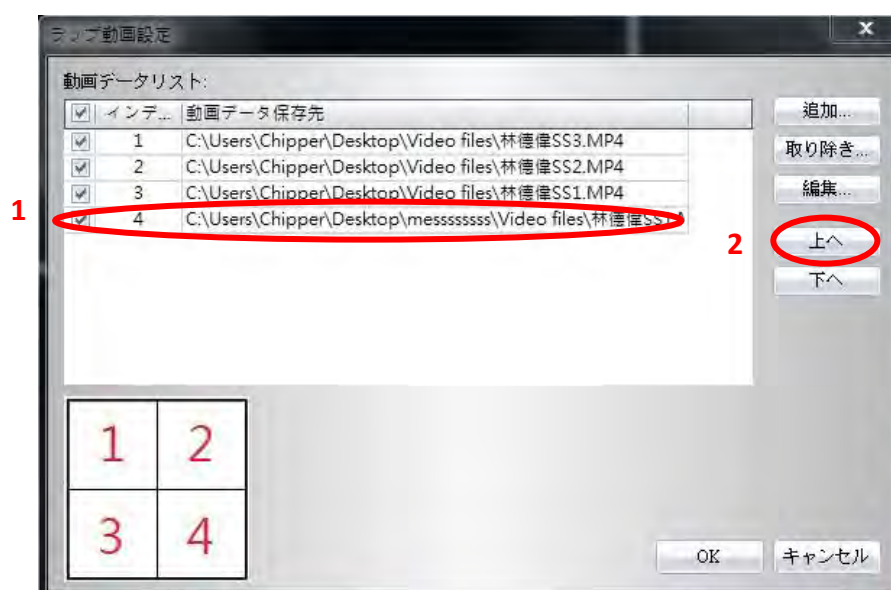


10.1 動画設定

動画ページでは『ラップ動画設定』ボタンをクリックすると、『ラップ動画設定』メッセージが出てきます。動画の加入・移動・編集は可能です。(ノート: QRacing では動画ファイルは最大九つまで対応します。対応形式は avi、mov、wmv、mp4、mpg です。) ウィンドウズシステムが再生できるファイルには対応しますが、動画を再生できない場合もあります。その場合、あらかじめパソコンは CODECS をインストールしてあるかをまず確認してください。そのほか、パソコン機能にもよるが、動画ファイルを増やすと、とりわけ高品質の HD ファイルの場合、画像遅れが発生する恐れがあります。



動画表示の順序を変更するには、「ラップ動画設定」メッセージではご希望の動画を選び、「上へ」ボタンや「下へ」ボタンをクリックしてください。



10.2 動画開始時間を設定

動画設定メッセージでは動画を選び、『編集』ボタンをクリックすると、下図のように、動画時間設定メッセージが表示します。



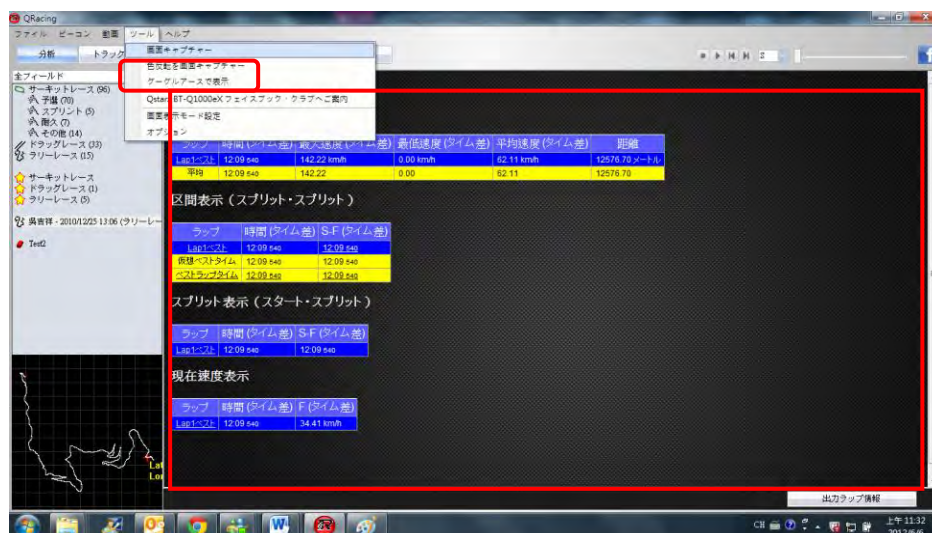
*一部の動画内容はレースと合わないことがあるため、最初に動画開始時間を設定し、トラックと同期していく必要があります。

以下の手順に従いながら、動画開始時間を設定してください。

1. トラック動画の開始位置が合わせるまで動画を再生し続けてください。合わせが完成すると、一時停止にしてください。
2. 『OK』ボタンをクリックし、編集が完了します。

11. 画面キャプチャー

下図のとおり、画面をキャプチャーする機能にも対応しており、撮った画面はワークスペースに保存されます。「ツール」を開き、「画面キャプチャー」をクリックしてください。



12. グーグルアース

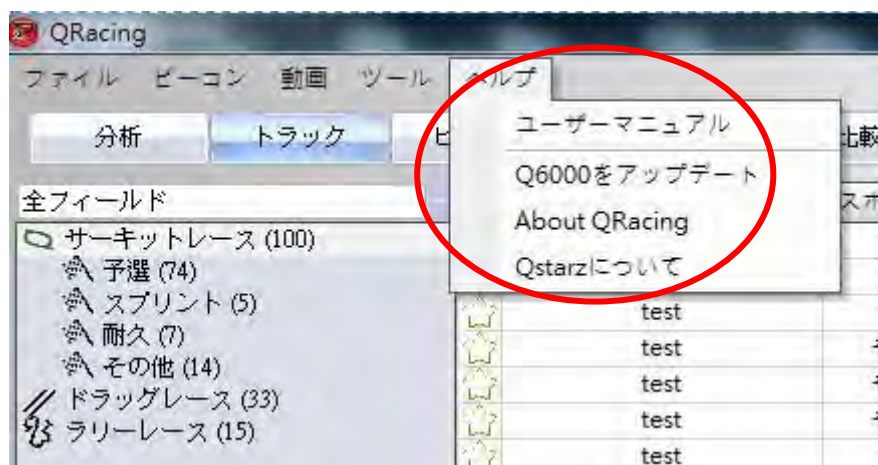
QRacing はトラックを出力させることができ、そして、「グーグルアース」と連携し、表示することもできます。



(ノート：あらかじめグーグルアースをインストールしておく必要があります。)

13. QRacing ソフトウェアと LT-Q6000 の更新について

Q6000 のソフトウェアとファームウェアをアップデートするには、『ヘルプ』を開き、アップデートの有無をチェックすることができます。



QRacing はサーバーより最新ソフトウェアバージョンがあるかをチェックしています。新しいバージョンが公開した場合、QRacing はダウンロードするについてユーザーに尋ねます。同時に、Q6000 が接続してくると、Q6000 のファームウェアバージョンをチェックし、Q6000 ファームウェアや Q6000 本体の最新バージョンのダウンロードが自動に行われます。

ダウンロードが完了した際は、Q6000 ファームウェアをアップデートするには、USB ケーブルを抜き、ENTER と POWER ボタンを同時に押してください。内部設定が初期化されますので、Q6000 立ち上げ後「Setting」画面より「Language」を日本語に設定し、タイムゾーンを「UTC+9」に変更します。

14. フェイスブックでキュースターズと交流しましょう

「フェイスブック」ボタンをクリックすると（下図をご参照ください）、QRacing はウェブブラウザを開き、フェイスブックでの QSTARZ Motorsport GPS Lap Timer をご案内します。『グループに参加』ボタンをクリックすると、キュースターズのグループに参加できます。

